

高度医療別添様式第 6 号

高度医療に係る健康危険情報について

当該技術に係る健康危険情報を把握した場合、各々記載して下さい。

高度医療の名称	肺悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法
保険医療機関名	福岡大学病院
健康危険情報 (国民の生命、健康の安全に直接係わると考えられる内容と理由を簡潔に記入)	本事例は片肺で、腫瘍径 4cm 程度あり、高度医療の適応ではなかった。予測合併症として、穿刺および焼灼後の腫瘍脱落による気胸と局所の感染等が考えられた。本人の強い希望もあり、同様の手技を用いて自由診療で施行した。しかし、腫瘍部の壊死と感染をきっかけに術後呼吸循環不全となり、不幸な転機をとった。
情報源 (研究者名、学会発表、雑誌等の詳細について記述)	福岡大学医学部放射線医学教室 助教 福岡大学病院放射線部 講師
参考文献(※)	FDA 注意喚起 (2007.12.11) 映像情報 Medical 2004.6 635-640 最先端の IVR 肺悪性腫瘍のラジオ波治療
情報に関する評価・コメント	片肺の症例に関しては、呼吸機能が両肺患者に比し低下しており、術後に重篤な合併症を引き起こした際に回復しない可能性が高いと思われる。(本事例は家族の強い希望もあり、治療を施行した。)
連絡先 (氏名及び電話番号・FAX 番号・Eメール)	

(注 1) ※については、当該健康危険情報を理解するために参考となる文献があれば、その文献名等を記入し、本様式に当該資料を添付して下さい。

(注 2) 高度医療に係る健康危険情報を把握した場合は、直ちに厚生労働省医政局長あて本様式により御報告下さい。なお、報告者名、施設名等は外部へ漏洩しないよう万全の配慮を致します。